

1. 科目名 (単位数)	病弱者の心理・生理・病理 (2単位)	3. 科目番号	SNMP3450 SCMP3450 SBMP3450 SSMP3450 SSMP3350								
2. 授業担当教員	加藤 洋子										
4. 授業形態	医療サイドから期待される教育についての講義・演習	5. 開講学期	春期								
6. 履修条件・他科目との関係	病弱教育Ⅱの前に履修することが望ましい										
7. 講義概要	小児慢性特定疾病 (悪性新生物、喘息などの難治性呼吸器系疾患、ネフローゼ症候群などの内臓系疾患、血友病などの血液・リンパ系疾患、筋ジストロフィーなどの神経疾患等) を中心に、院内学級や訪問教育の教師として医療職との連携・協力において必要な、倫理観や社会的責任感、共感的態度及び、各疾患の生理・病理、病気の子どもの心理特性、家族の生活や心情、退院後の学校生活での配慮事項について学ぶ。										
8. 学習目標	<p>【期待される効果】以下の事項を踏まえ、長期の療養を伴い完治の難しい慢性疾患とともに生きる児童生徒や家族に寄り添い、医療チームと連携・協力するための基礎知識及び倫理観・責任感が身につく。</p> <p>① 子どもの発達や子育てについての基礎知識。  ② 病気の子どもや病気の子どもを育てる家族の心理特性。  ③ 病気の子どもに関わる専門職の役割と連携・協働のための基礎知識。  ④ 病気の子どもが地域の学校に戻った時に必要な学校側の配慮事項。  ⑤ 病気の子どもに関連する医療や福祉の制度。</p>										
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>毎回の授業の度にグループワークでまとめたことを発表すること。  上記の学習目標①から⑤をグループ学習課題とし、グループワークで話し合ったテーマをまとめていくこと</p>										
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】ケアが街にやってきた—医療的ケアガイドブッククリエイツかもがわ; 江川 文誠 山田 章弘 加藤 洋子 (著) B5 版 (2008/8/31)クリエイツかもがわ/  【参考書】最新学校保健 単行本 - 2021/3/1 岡本 陽子 (編さん), 郷木 義子 (編さん) ふうろう出版 医療福祉総合ガイドブック 2023 年度版 NP0 法人 日本医療ソーシャルワーク研究会 (編集) ISBN 978-4-260-05243-6 C3047 A4 判 328 頁  【参考資料】公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団助成研究 2016 年度 (前期) 一般公募「在宅医療研究への助成」完了報告書 申請者 帝京科学大学 加藤洋子 <a href="https://www.yuumi.or.jp/wp_yuumi2/wp-content/uploads/2022/06/04555a2fd4f7f10db98db9e0b34e18b0.pdf">https://www.yuumi.or.jp/wp_yuumi2/wp-content/uploads/2022/06/04555a2fd4f7f10db98db9e0b34e18b0.pdf</a> 提出日 平成 29 年 8 月 31 日  公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団助成研究二〇一六年度 (前期) 一般公募「在宅医療研究への助成」完了報告書「重症心身障害のある超重症児 (者) と母親の生活の実態及び生活の質に関する調査研究」</p>										
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. グループワークにおけるレポート課題の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。  2. 分かりやすい表現方法や具体的かつ論理的な文章作成力が身に付いたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 小テスト</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>2. レポート課題・課題研究</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 授業への参加度</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>4. 期末試験</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4 以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>			1. 小テスト	総合点の 20%	2. レポート課題・課題研究	総合点の 30%	3. 授業への参加度	総合点の 20%	4. 期末試験	総合点の 30%
1. 小テスト	総合点の 20%										
2. レポート課題・課題研究	総合点の 30%										
3. 授業への参加度	総合点の 20%										
4. 期末試験	総合点の 30%										
12. 受講生へのメッセージ	<p>白血病や骨肉腫、呼吸器、循環器などの疾患を抱え闘病生活の中で、命と闘っている子どもたち、筋ジストロフィーにより少しずつ体が動かなくなり話すことも難しい状態にある子供たち、また愛しい子どもの看病をしながら子どもの病状を心配している家族の精神的負担・不安を理解する。またターミナルケアに入る子どもたちの尊厳について考える。医療的ケア児法案の中で教育に求められる指導や家族支援などの地域での包括支援・連携について理解を深める。病児に適切な教育環境・教育の場・指導について考察する。</p>										
13. オフィスアワー											
14. 授業展開及び授業内容											
講義日程	授業内容	学習課題									
第 1 回	オリエンテーション 病気の子どもを取り巻く現状	事前学習	「病気」とは何か、自分の考えを説明できるようにしておく								
		事後学習	グループワーク課題の整理								
第 2 回	病気の子どもを取り巻く現状 2 療養生活と子どもの人権	事前学習	在宅医療・病院・特別支援分校・訪問級・家庭での療養生活と教育について調べる								
		事後学習	療養生活と子どもの人権についてまとめる								
第 3 回	病弱教育の場と対象・地域生活	事前学習	学校教育法施行令第 22 条の 3 について調べておく・グループワーク課題の整理								
		事後学習	関係法令をノートに書き留めておく								
第 4 回	病気の子どものトータルケア	事前学習	長期入院児に特に不足しがちな環境とは何か考えておく。								
		事後学習	療養生活と子どもの人権についてまとめる								
第 5 回	病気の子どもの心理社会的支援サービス	事前学習	医療が教師に求めるものとは何か考えておく。								
		事後学習	上記について教師の立場で何ができるか								

			とめておく。
第6回	主な病気の心理・生理・病理(1) -白血球・心臓病・腎臓病など-	事前学習	「白血病」の症状、治療法、学校教育での配慮事項とは何か調べておく。
		事後学習	グループワーク課題の整理 腎臓病
第7回	主な病気の心理・生理・病理(2) -糖尿病、筋ジストロフィーなど-	事前学習	「筋ジストロフィー」の症状、治療法、学校教育での配慮事項とは何か調べておく。
		事後学習	グループワーク課題の整理 糖尿病
第8回	主な病気の心理・生理・病理(3) -医療的ケア児	事前学習	医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律を調べまとめておく
		事後学習	グループワーク課題の整理 医療的ケア児
第9回	専門職の役割 重症児コーディネーターと教員の連携	事前学習	病気の子どもに関わる専門職の仕事とは何か調べておく。
		事後学習	グループワーク課題の整理
第10回	医療現場で働くための共通の基礎知識と技術	事前学習	医療現場における教師の専門性とは何か調べておく。
		事後学習	グループワーク課題の整理
第11回	病気の子どもがいる家庭の暮らし・ケア①	事前学習	加藤の報告書から事例のまとめ
		事後学習	グループワーク課題の整理
第12回	病気の子どもがいる家庭の暮らし・ケア②	事前学習	加藤の報告書から事例のまとめ
		事後学習	グループワーク課題の整理
第13回	病気の状態に応じた配慮(5)(不登校・心の病)	事前学習	加藤の報告書から事例のまとめ
		事後学習	グループワーク課題の整理
第14回	まとめ①	事前学習	グループワーク発表課題の整理
		事後学習	グループワーク課題の整理
第15回	まとめ②	事前学習	グループワーク発表課題の整理
		事後学習	グループワーク課題の整理
期末試験			